施策評価シート（令和７年度実績）

施策名　１　支援を要する子育て家庭を支える

施策コード	010001

１．施策の体系と担当課

第5次総合計画	将来像	1　心豊かな人が育ち　ふるさとに誇りと愛着を感じるまち
主管課	子ども部　子ども福祉課	
関係課		

２．施策の目標

10年後の目標

子育てに関する経済的な負担軽減や生活基盤を確立するための制度が市民に認知され、必要とする人が安心して利用でき、子どもを健全に育成できる環境が保たれています。
子育ての悩みを相談できる場が確保され、児童虐待につながる芽を摘み取るネットワークを確立し、万が一虐待が発生した場合、地域ぐるみで早期に解決できる体制となっています。

10年後の目標に向かっての主な取組み

市の取組み

〇子ども医療費助成を継続して実施するとともに、その対象を拡大するなど、すべての子どもが必要な医療を受診できる制度をめざします。
〇ひとり親家庭に対するきめ細やかな生活支援や、就労に結びつく資格取得のための支援を行うなど、経済基盤の確立に取り組みます。
〇地域ぐるみで子どもを見守る意識が高まるよう環境整備を行います。
〇教育、医療などの関係機関との密接な連携による児童虐待の防止、早期発見、早期対応に取り組みます。
〇保健師等により妊産婦の全家庭を訪問するなど相談体制を充実させ、出産・育児に悩みを持つ家庭への早期対応に取り組みます。

市民・団体・事業所等の取組み

〇地域が一体となって子どもに気を配り、安全やしつけ、家庭環境などに配慮することで、地域全体で子育てを支援します。
〇相互に交流する場を活用し、ひとり親家庭の孤立を防ぎます。

３．施策を取り巻く状況

社会環境や法令等の変化

児童福祉法の改正により、令和６年４月から全市町村が「こども家庭センター」の設置に努めることが義務付けられた。

新たな市民ニーズ

社会環境の変化により、隣近所のつきあいが希薄になりつつあり、地域ぐるみで子どもを見守る環境整備と、ひとり親を支援するため、子どもの生活・学習支援事業や、子どもの居場所づくりのため「子ども食堂」等への支援等が必要とされている。

４．施策にかかるコスト

			単位	R6予算	R6決算	R7予算	R7決算	R8予算
コストの内訳	投入人員	正職員数	人		10.48		11.26	
		会計年度任用職員数			3.16		4.19	
	人件費	直接人件費	千円		84,302		104,558	
		間接人件費			17,218		18,549	
	直接事業費			2,385,132	2,181,740	3,055,323	2,650,094	2,737,499
	間接事業費				284		1,553	
	フルコスト				2,283,544		2,774,754	
財源内訳	使用料及び手数料		千円	1		1		1
	国庫支出金			1,260,443	1,197,956	1,719,846	1,547,795	1,546,473
	府支出金			282,001	257,021	273,026	243,903	249,881
	市債							
	その他			6,669	149,158	7,408	197,057	6,207
	一般財源１（＝フルコスト－特定財源）				679,409		785,999	
	一般財源２（＝直接事業費－特定財源）			836,018	577,605	1,055,042	661,339	934,937

備考

５．施策の成果指標

成果指標1		ひとり親家庭の就労支援件数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
件	毎年度	50	維持	49	47	50	50
成果指標2		児童虐待相談通報件数（特定妊婦含む）					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
件	毎年度	400	維持	288	314	400	400
成果指標3							
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向				

６．施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和7年度実績）

事務事業名	最重要指標	事業費 人件費 令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度(見込)	方向性		所見
子ども医療費助成事業 （子福）	子ども医療証交付者数（年度末現在） R7実績 9,797 人 最終目標値に対する達成率 －	330,170 7,253	304,658 7,459	290,681 7,641	308,571 0	成果 資源配分	簡易評価	
ひとり親家庭医療費助成事業 （子福）	R7実績 最終目標値に対する達成率	72,117 7,253	70,665 8,447	66,763 10,551	71,039 0	成果 資源配分	評価対象外	
児童扶養手当給付事業 （子福）	R7実績 最終目標値に対する達成率	409,899 8,085	412,616 8,618	411,246 8,479	442,800 0	成果 資源配分	評価対象外	
児童福祉支援施設入所事業 （子福）	R7実績 最終目標値に対する達成率	4,288 5,390	4,097 3,180	1,117 3,430	14,177 0	成果 資源配分	評価対象外	
ひとり親家庭等生活支援事業 （子福）	母子・父子自立支援プログラム策定件数 R7実績 17 件 最終目標値に対する達成率 －	32,177 11,710	24,763 12,695	16,484 13,669	30,518 0	成果 資源配分	簡易評価	
要支援児童対策事業 （子ど）	児童虐待事件件数 R7実績 0 件 最終目標値に対する達成率 －	3,159 54,730	3,016 48,066	3,985 56,178	4,831 0	成果 資源配分	簡易評価	
児童手当給付事業 （子福）	R7実績 最終目標値に対する達成率	1,191,694 6,291	1,361,158 7,364	1,737,663 7,984	1,706,254 0	成果 資源配分	評価対象外	
未熟児養育医療費給付事業 （子福）	R7実績 最終目標値に対する達成率	1,000 4,895	767 5,691	2,490 6,498	2,371 0	成果 資源配分	評価対象外	
予防接種事業 （子ど）	実施医療機関数 R7実績 17 ケ所 最終目標値に対する達成率 －	0 0	0 0	119,665 7,503	156,938 0	成果 資源配分	Ａ：向上を図る Ａ：資源を拡大	医師会等の協力により、多くの医療機関で予防接種を受けることが可能となり、それが接種率の向上に繋がっていると思われる。令和8年4月に定期接種化されたRSウイルス感染症ワクチンも他の予防接種と同様に接種率の向上を図り、母子の健全育成に寄与してほしい。
救急医療事業 （子ど）	実績 最終目標値に対する達成率	0 0	0 0	0 1,174	0 0	成果 資源配分	評価対象外	

７．施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	ひとり親家庭の就労支援件数は47件で前年度とほぼ変わらず、対象者にも概ね必要な支援を行うことができた。また、児童虐待相談通報件数は前年度に比べ26件増加しており、通報があった場合は、関係機関との連携を図るなど対象者に寄り添った支援を行うことができた。
構成事務事業に課題はないか	妥当である。
実施主体（国・府や地域・事業所などとの役割分担）に課題はないか	妥当である。

８．今後の方向性	
担当部長の所見	少子化、核家族化が進む中、行政が地域と共に子育て世帯を支援することは、今後益々求められることと思われます。必要な支援が必要な家庭に届くよう、環境整備に努めてください。
担当副市長の意見	人口減少や少子高齢化に対応し、持続可能なまちを実現するため、子育て世帯をターゲットとした支援策について、市民のニーズの把握に努めるとともに、新たな支援策を含め充実させていく必要がある。